



平成 29 年 12 月 25 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗
(TEL 045-478-0041)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4の第1項に基づき、平成29年12月27日に関東財務局へ提出する予定の平成29年9月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備がある旨を記載することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

平成29年9月期の会社法の規定に基づく計算書類の会計監査において、投資有価証券売却に係る収益認識時点の誤りによる重要な後発事象の記載漏れの指摘がありました。今件の原因としては、海外市場における株取引に係る会計処理の不慣れによるものであり、非定型的な取引に関する内部統制が適切に運用できていなかったことによるものであります。なお、必要な修正事項は、決算手続きの中で、適正に修正しております。

当社は、上記の財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末までには是正できなかった理由

本件は、当事業年度末日後に発生した事象であり、会社法の規定に基づく計算書類の監査の過程で発見されたためであります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を十分認識しており、以下の再発防止策を講じて、改善に取り組んでまいります。

- (1) 海外市場における株取引の会計処理についてのマニュアル作成及びそれに基づく教育の実施
- (2) 海外市場における株取引の会計処理の適正性についての相互チェック・承認機能の強化
- (3) 今後、その他非定型的な取引を行う場合は、上記(1)、(2)と同様の対応の実施

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、平成29年12月27日提出予定の平成29年9月期の有価証券報告書に反映させており、連結財務諸表及び財務諸表に与える影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上